

基礎生物科学分科会（第25期・第3回）議事録

日時：2023年9月25日（水）18:00 – 20:00

場所：ビデオ会議（Zoom）

出席者：小林武彦（委員長）、川合真紀（副委員長）、高橋素子（幹事）、入江直樹（幹事）、寺北明久、石野敏史、中野明彦、三村徹郎、石谷和彦、上野直人、東原和成

欠席：杉本亜砂子、武田洋幸

議題

1、前回議論のその後

25期の活動に関して行ってきた活動を振り返り、これまでの進展や見通し、課題等について情報共有した。

2、生物資源の問題についての情報共有

生物資源の対象としてDNA配列そのものまで含まれるなど、日本の生物学者としても状況を注視すべき状態にあることが情報共有された。

3、学術会議のあり方

学術会議任命問題から現在に至るまでの流れと今後の動向についての情報共有及び議論がなされた。

4、当該分野での現状

学術用語のあり方の検討が進んでいることが報告され、入試問題での用語使用状況が改善されつつあることなどが報告された。また生物選択をする受験者数の減少に関する情報共有と意見交換がなされた。

5、次期への申し送り事項

生物学の発展、特に生物学を目指す若い世代が増えるよう、学問分野としての魅力の発信や用語の整理、生物学の指導要領の再検討など幅広い検討と議論を引き続き行っていくことが重要だという見解に至った。国内学術誌のあり方については、他の分科会とも連携して検討を続ける。